

利府の新しい交流拠点

利府町文化交流センター建築工事 建築だより 第13号 (令和2年10月発行)

利府町文化交流センターは、町の新しいブランド力になる豊かな文化を育む交流の拠点として整備を推進しております。完成まで楽しみにお待ちしております。



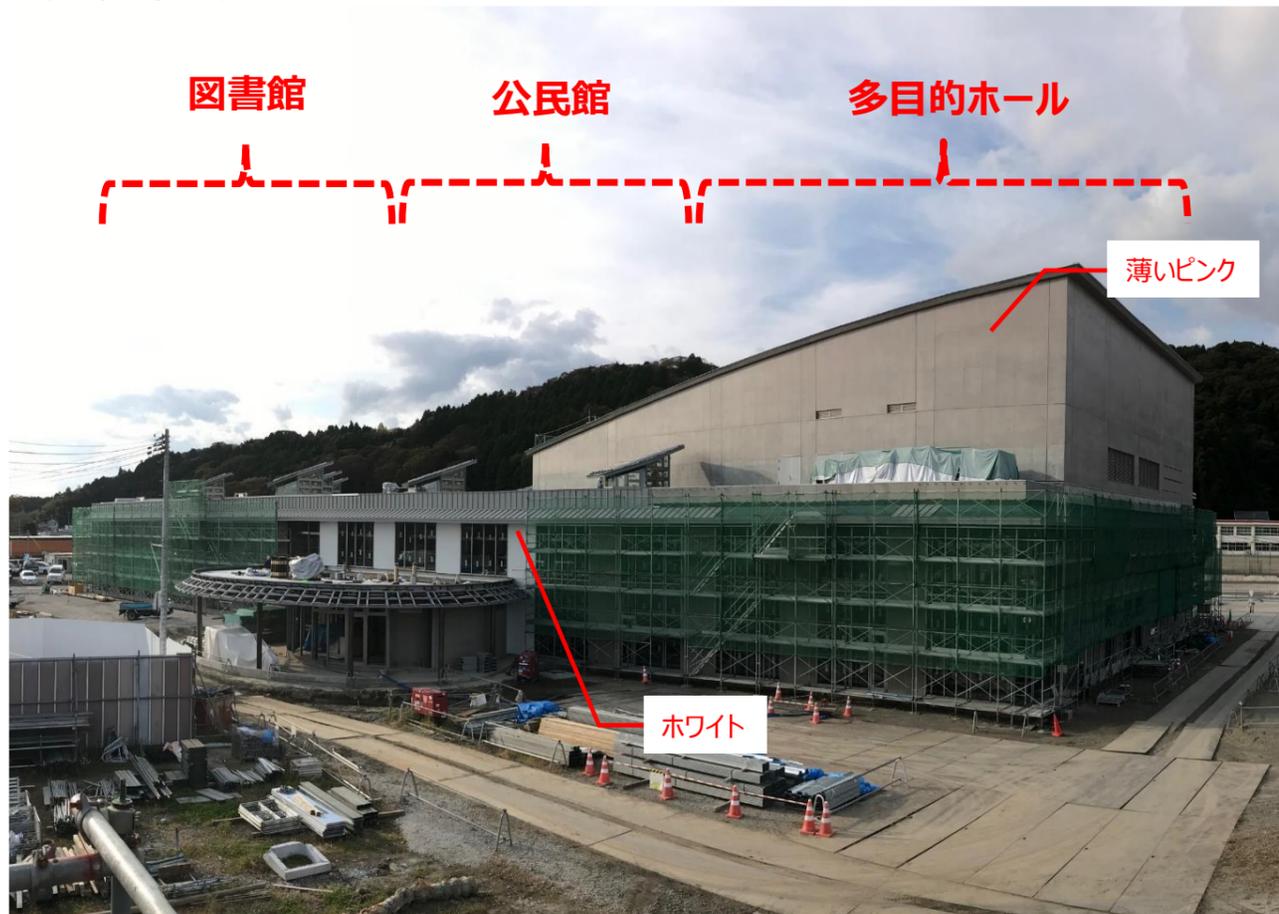
作成：利府町役場 文化複合施設推進室
株式会社佐藤総合計画
五洋・小板橋特定建設工事共同企業体

1. はじめに

建物の建築工事と併せて、外部では外構工事がスタートしました。外構工事では入口のスロープや階段、駐車場などの施設周辺の環境整備を行います。それに伴い敷地を囲っていた仮囲いの一部が外され、歩道から内部の様子が見れるようになりました。10月末時点の工事進捗率は約75%程度まで進んでいます。お近くにお立ち寄りの際は外部の出来栄をご覧ください。と思います。

2. 場内全景写真

10月27日現在の現場の様子です。コンクリート部分の塗装が概ね完了しました。薄いピンク色に塗られており、これは館山公園の桜をイメージしたカラーとなっています。低層部分は囲いがされており、塗装工事の真っ最中です。低層部分は梨の花をイメージしたホワイトに塗装されます。内外部共に利府のイメージを取り入れた仕上がりとなっています。



3. 各エリアごとの進捗状況

①1階図書館部分の様子

9月28日



10月20日



鉄骨の骨組みにボードが張られて綺麗な曲線が出来上がりました。窓のランダム配置、エコツリーと併せて有機的な空間の図書館となっています。



球体の『おはなしのへや』です。壁にめり込んだような面白い作りで子供達に喜ばれそうです。



図書館の入口に自動ドアが設置されました。



図書館は床下に空気式床暖房を備えています。現在はそのダクト工事中です。青色のものは床の断熱材です。



図書館の2階から撮影した様子です。天井が高くとても大きい図書館となります。

②2階公民館部分の様子

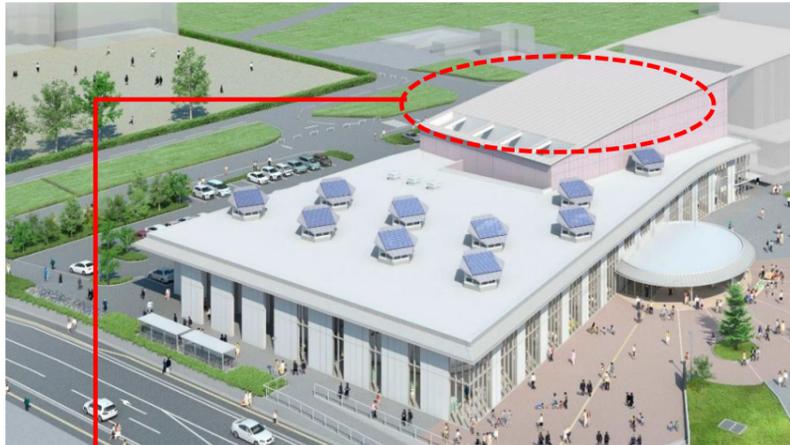


2階公民館の研修室の様子です。写真では大きい1つの部屋ですが、4部屋に区切れるようになります。



創作室 1 の様子です。窓の外はバルコニーとなっています。壁にはピンク色の断熱材が吹付けられています。

③外部の屋根工事の様子



下記は赤丸部分の屋根工事の様子です。長い鋼板材を職人さん達が協力しながら、1枚1枚丁寧につなぎ合わせました。つなぎ目が少ないほど雨漏れのリスクは減りますので、将来のメンテナンスも配慮したつくりとなっています。



4. 今後のスケジュール

11月の主な工事予定

外部では仕上げの塗装工事、内部でも同様に仕上げの工事が進んでいきます。また、施設の外では外構工事が行われており階段やスロープ等を作っていきます。

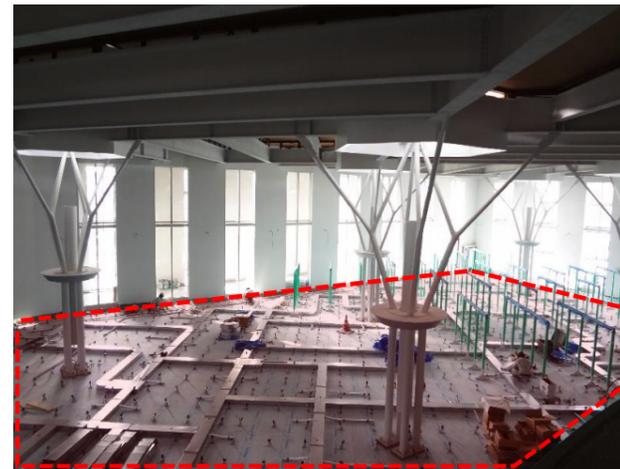
5. 現場コラム ※施設のエコ設備の紹介②

今回は冬場の暖房設備についてご紹介します。

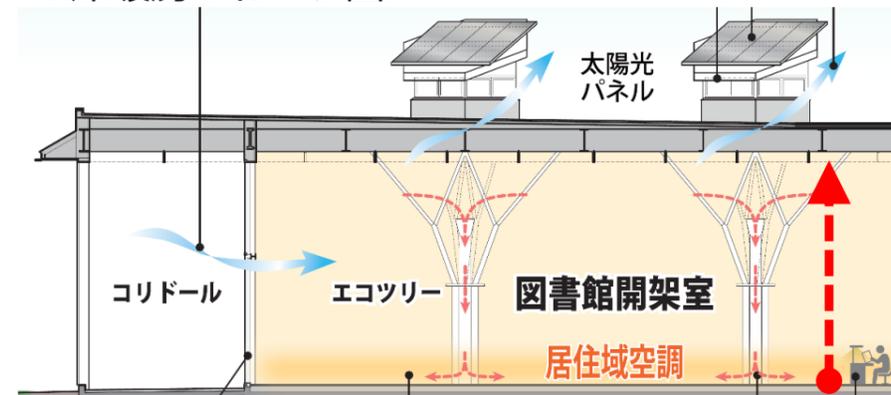
図書館では床下に空気式の床暖房を備えています。下記の写真のように床面に暖房した空気を流すダクトを現在工事中です。また、1階のエントランスホールと交流ラウンジ（カフェになる部分）には床下に温水を流すパイプを施し床面を暖める水式の床暖房を設置します。

図書館もエントランスホールも天井高は約7mもあり、とても背の高い開放的な空間となります。一方で暖房の熱は上のほうへ移動する性質があるため、天井が高いと一般的には暖房の効率が悪くなると言われています。床暖房は床面を直接暖めることからそのデメリットを解消し天井の高い空間でも暖房が有効に働くため、施設の省エネルギーにつながります。また人間の健康に良いとされる「頭寒足熱」を実現しやすい暖房方式となっています。これらの床暖房は夏季には冷風を流すことで冷房機としても活躍します。

◆図書館の床暖房用のダクト施工状況写真



◆床暖房のイメージ図



床暖房は床面を直接暖めるため、下のほうから徐々に上のほうへ熱が移動するため、快適な温熱環境を実現しやすいことが特徴です。また、ストーブ等の火で身体を直接暖める方式ではなく、太陽光のようなじんわりと暖める輻射熱方式のため、身体への負担が少なく、身体の芯から温まります。

◆町民の皆様へ◆

工事の内容によって、朝の7時から夜19時頃まで作業を行う場合があります。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

